

[<< 業界人特集 TOP1に戻る](#)[「業界人特集」について](#)

### 動物看護師を目指したきっかけは・・・

谷口動物病院 動物看護師 新津麻里絵さん

【谷口動物病院】

町田市木曽西5-28-31モンシャトー木曽1階。

動物のQOL(Quality of Life 生活の質)を重視し、飼い主さまとの対話を大切にする診療を理念としている。

病院ホームページ: <http://taniguchi-ah.com/index.html>

病院ブログ: <http://taniguchiah.blog.fc2.com/>

#### 初めは怖かった猫が、動物看護師を目指すきっかけに

私が小学校に入る前の頃、家で猫を飼い始めたんですが、それが私にとっての初めての動物との触れ合いで、最初はとにかく猫が怖くて触れませんでした。

ある時、猫が部屋のサークルから出てしまったんですが、母はお風呂に入っていて自分で戻さなくては行けない、姉と一緒にオロオロと困っていた時にお風呂場から母が「怖くないから触ってごらん」と言葉をかけてくれたんです。勇気を出して恐る恐る抱き上げてみたら全然怖くなくて、むしろ今まで怖がっていたのを後悔するくらい「可愛いなあ」と感じました。それ以来私は大の動物好きになって、中学生の頃には「将来は獣医さんになりたい」と思い立ち、近所の付属高校に進学することになりました。

けれども高校1年生の時、ネズミ解剖の授業で私はどうしても生きているネズミにメスを入れることができなかったで、早くも獣医さんの夢を諦めることにしました。それでも動物に携わる仕事に就きたいという想いは変わらなかったで、何か他の方法がないか自分で色々調べたんです。それで動物看護師やトリマーという仕事があるのを知り「それなら自分でも目指せるかも」と思い、専門学校に入学しました。

最初はトリマーになるか動物看護師になるか迷っていたのですが、専門学校に入ったばかりの4月に、ずっと飼っていた猫が腎不全と心肥大で亡くなってしまいました。体調がどんどん悪くなっていく猫の姿を見ながら、何もしてあげられない自分がすごく悔しくて、それをきっかけに動物看護師の道に進むことを決めました。



#### 来院した子が元気になって帰っていくことがやりがい



私が動物看護師になったのは、自分のような悲しい思いをする人を少しでも減らしたいという思いからなので、動物病院に来た子が元気になって帰っていくときは、とてもやりがいを感じます。

ある時、高齢の猫ちゃんに麻酔をかけて口内のがんの手術をしたことがあったのですが、手術後にその猫ちゃんが寝たきりになってしまったんです。

様態は半分悪くなってしまったのですが、院長が「リハビリをすれば良くなる」とおっしゃったので諦めずに一生懸命リハビリを続けました。病院で預かって付きっきりで看病し、その子のリハビリが成功して歩けるようになった時は本当に嬉しかったです。体調が悪い子は、治療にも長い時間がかかってしまい、とても心配ですが、そういう子達が元気に退院していく姿を見ると、どんな子が来ても諦めずに頑張ろうという勇気を貰えます。

#### この病院に欠かせない動物看護師になりたい

ずっと飼っていた猫が亡くなってしまった後、新たに猫を2匹飼っていたのですが、その猫を診察練習のために病院へ連れていったらリンパ腫というガンが見つかりました。わずか3歳なのにその子はガンで亡くなってしまいました。とても辛かったです。助けられなかったことや自分の未熟さ、知識の無さが本当に悔しくて、いまでも忘れられません。

私は、動物看護師になってまだ1年目ですが、同じような悲しい思いをする人が減るように沢山の知識

を身につけて、動物や飼い主さんから信頼される看護師になり、この動物病院に欠かせない存在になることが今の目標です。

